



施設名	大谷川隧道								
所在地	佐賀県 唐津市								
管理者等	佐賀県								
施設種類・分野	河川			隧道					
施設概要 (明治期との関連含む)	1900年(明治33年)の耕地整理法の施行に伴う大谷川の付け替えの河川トンネルで、山裾を迂回する大谷川を最短距離で徳須恵川につながり、珍しい鳥居形のポータルです。当時、この地区は出水による耕作地被害が頻繁に起こっており、徳須恵川の直線化や大谷川、山田川の付け替えが行われました。隧道は煉瓦巻立の三心円アーチ構造で、出口側側壁高は入口に比べて20~30cm低くなっています。使用されている煉瓦の色は、赤紫に近く、比較的高温で焼かれたものとみられています。(参考文献より引用)								
	  参考文献より引用								
築造時期	明治後期				時期詳細	明治44年			
関連人物	-								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	-								
歴史的な遺産等の指定の有無等	-	選奨土木遺産 (土木学会)	-	文化財 (文化庁)	-	近代化産業遺産 (経産省)	-	世界遺産 (ユネスコ)	-
その他 (関連資料、文献)	九州地域づくり協会資料HP http://dobokuisan.qscpua2.com/								
管理者等のHP (URL等)	-								